

県民の森 視察

12月25日クリスマスの日には農林水産委員会として県内視察に行ってきました。第4回定例会の際、「大分県民の森における公の施設の設置及び管理に関する条例改正」で、青少年の森キャンプ場の廃止及び指定管理者選定の関係で現場視察に行ったものです。

県民の森は大分市から豊後大野市までまたがる4475haの広大な森林です。国有林や県営林、民有林も混在しているところで、この中にキャンプ場や広場、桜園、香りの森などがあります。青少年の森キャンプ場は廃止になりますが、それより設備の整っている平成森林キャンプ場に統一され運営されます。



ラベンダー畑や桜がたくさん植えられている公園、バンガローやトイレも完備されているキャンプ場など、夏休み時期など季節ごとに来場者がたくさん来ていると話がありました。冬の時期は道路凍結や寒波などでお客は少ないが、松ぼっくりなどを使用してのリースづくりや、花炭づくりで誘客を図っていると話がありました。

春の桜、夏の涼、秋の紅葉、冬の雪景色など、一年を通して楽しめるようにと管理者も様々な知恵を絞っていました。一度は行ってみたい場所でもあります。

